

第21回 関西 PEG・栄養とリハビリ研究会ご案内

日 時：2015年7月11日(土) 14:00~18:30

場 所：ホテル大阪ベイタワー4階 ベイタワーホール

大阪市港区弁天1-2-1 TEL：06-6577-1111

(JR環状線及び地下鉄中央線「弁天町」駅直結)

当番世話人 近畿大学医学部 内科学消化器内科部門 准教授 汐見 幹夫

主題演題 『胃瘻と栄養に関する演題』

『胃瘻と栄養に関わるリハビリテーションに関する演題』(公募)

特別企画 特別講演①『なぜ経腸栄養が推奨されるのか？

われわれが知っているべきいくつかの理由』

東京大学医学部附属病院 手術部 准教授 深柄 和彦先生

特別講演②『摂食嚥下リハビリテーションと服薬管理 -パーキンソン病を中心に-』

兵庫医療大学 リハビリテーション学部 教授 野崎 園子先生

ディスカッション

◆展示ブースを設けております。13時よりご利用いただけますので、多数のご来場をお待ちしております。

会場整理費 1,000円

◆研究会終了後、情報交換の場を設けさせて頂いております。

連絡先：第21回 関西 PEG・栄養とリハビリ研究会事務局

近畿大医学部附属病院 消化器内科医局

TEL：072-366-0221 内線 3525

E-mail：21kan-peg@med.kindai.ac.jp

共催：関西PEG・栄養とリハビリ研究会 アボットジャパン株式会社



プログラム

【開会の辞】第21回関西 PEG・栄養とリハビリ研究会 当番世話人 汐見 幹夫

【症例】(14:10~14:58:発表 5分、討論 3分)

座長: 伊藤 明彦(東近江総合医療センター)

三好 博文(神戸マリナーズ厚生会ポートアイランド病院)

演題 1 『PEG 中の出血に対して胃壁固定追加で対応した一例』

奈良県立五條病院 内科

○中谷 聡、森安 博人、堀内 葉月、松本 昌美

演題 2 『栄養障害により汎血球減少をきたした在宅患者の2例』

つちやま内科クリニック

○土山雅人

演題 3 『持続的経鼻胃経管栄養法から胃瘻に代替栄養法を変更し

嚥下機能改善が認められた1例』

(一財)神戸マリナーズ厚生会 神戸マリナーズ厚生会ポートアイランド病院

○宮川 心、猪崎 愛、吉田 眞澄、森本 理、三好 博文

演題 4 『胃瘻造設から2年間非経口摂取であった患者が

嚥下訓練によって経口摂取再開となった一例』

武田総合病院

○田辺 美代子、小島 康祐、髭 秀樹、岩田 辰吾、井上 藍、藤井 希実、伊藤 倫子

演題 5 『胃瘻造設から1年2ヶ月で3食経口摂取となった

ベッカー型筋ジストロフィー患者の1例』

刀根山病院 看護部

○山崎 明子

演題 6 『栄養療法を駆使して回復させた収縮性心膜炎術後多臓器不全症例

—胃瘻を用いた経腸栄養の有用性—』

東宝塚さとう病院 心臓血管外科、大阪大学栄養デバイス未来医工学

○岡崎利恵、田内祐也、近藤晴彦、川村久実、大塩美香、山田聡子、佐藤尚司、井上善文

【テーマ①胃瘻と栄養】(14:58～15:30:発表5分、討論3分)

座長: 井谷 智尚(西神戸医療センター)

高幣 和郎(大和高田市立病院)

演題7『PEG(胃瘻)造設前における仮想内視鏡検査の有用性』

一財)神戸マリナーズ厚生会 ポートアイランド病院 放射線科¹⁾、内科²⁾、外科³⁾

○堀田 和也¹⁾、川淵 好三¹⁾、藤本 拓己¹⁾ 三好 博文²⁾、和田 哲成³⁾

演題8『PEG困難例は予測できるか? —早期にPTEGを実現するために—』

西神戸医療センター

○濱田 健輔、井谷 智尚、京極 高久、鷲尾 麻紀子、奥野 昌宏、尾鼻 俊弥、隅野 有香、

高宮 静男、柳原 千枝、徳永 英里、井関 隼也、大音 和重、倉藤 明子、寺園 沙矢香

演題9『パイナップルに含有される蛋白質分解酵素を用いた胃瘻カテーテルの閉塞予防』

大和高田市立病院

○田宮 久世

演題10『1%重曹水を用いた経腸栄養チューブ閉塞防止効果の評価と使用推進』

大阪大学医学部附属病院栄養マネジメント部¹⁾、同薬剤部²⁾、滋慶医療科学大学院³⁾

○森本啓太^{1),2)}、村地 康²⁾、渡邊 梓^{1),2)}、勝浦正人^{1),2)}、大石雅子^{2),3)}、和佐勝史¹⁾

【テーマ②胃瘻と栄養にかかわるリハビリテーション】(15:30～16:10:発表5分、討論3分)

座長: 妙中 直之(住友病院)

森安 博人(奈良県立五條病院)

演題11『当院での胃瘻造設患者の変遷 —造設前嚥下機能評価加算の前後での変化—』

喜馬病院 NST

○黒田克美、児玉みどり、玉井範子、横山有紀子、渡辺 健太、前田晃、木原直貴

演題12『PEG術前の経鼻内視鏡検査時簡易嚥下評価の有用性』

東近江総合医療センター 消化器内科¹⁾、愛生会山科病院 看護部²⁾ 医療法人西山

医院³⁾、草津総合病院 看護部⁴⁾、消化器内科⁵⁾

○伊藤明彦¹⁾、水田寛郎¹⁾、岡山千尋¹⁾、藤本剛英¹⁾、五月女隆男¹⁾、辻川知之¹⁾

山田圭子²⁾、西山順博³⁾、中村智子⁴⁾、島本和巳⁵⁾、中村文泰⁵⁾、小山茂樹⁵⁾

演題 13 『当院における嚥下内視鏡による PEG 前嚥下機能評価の現状』

奈良県立五條病院 摂食嚥下チーム、消化器病センター

○佐谷直美、堀内葉月、森安博人、大谷絵美、中谷聡、坂上いづみ、松本昌美

演題 14 『当院における嚥下内視鏡検査(VE)の繰り返し施行例の検討』

愛晋会中江病院 NST¹⁾、阪南市民病院 内科²⁾

○寺井麻由¹⁾、中路幸之助¹⁾、藤田篤代²⁾、寺岡大輔¹⁾、高田かず¹⁾、岡 千晃¹⁾、田中道代¹⁾、大藪恵美¹⁾、國木亮介¹⁾、吉岡 典子¹⁾、淀澤美樹子¹⁾、葛本琢哉¹⁾、熊本光孝¹⁾、中江 聡¹⁾、中江遵義¹⁾

演題 15 『胃瘻造設症例数の変化に伴う、ST による嚥下訓練への影響について』

神戸掖済会病院 リハビリテーション科¹⁾、医事課²⁾、栄養管理部³⁾、脳神経外科⁴⁾

○赤川さやか¹⁾、関口武志¹⁾、永藤照美¹⁾、原田英一郎²⁾、岡本貴子³⁾、高橋留佳³⁾、富永貴志⁴⁾、中嶋千也⁴⁾

～ 休憩(16:10～16:20)～

【特別講演Ⅰ】

座長:大阪大学国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門

特任教授 井上 善文先生

『なぜ経腸栄養が推奨されるのか？』

われわれが知っているべきいくつかの理由』

東京大学医学部附属病院 手術部 准教授 深柄 和彦先生

～ 休憩(17:20～17:30)～

【特別講演Ⅱ】

座長:近畿大学医学部 内科学消化器内科部門 准教授 汐見 幹夫先生

『摂食嚥下リハビリテーションと服薬管理 -パーキンソン病を中心に-』

兵庫医療大学 リハビリテーション学部 教授 野崎 園子先生

【閉会の辞】 第21回関西 PEG・栄養とリハビリ研究会 当番世話人 汐見 幹夫

- ◆展示ブースを設けております。13時よりご利用頂けますので、多数のご来場をお待ちしております。
- ◆研究会終了後、情報交換会の場を設けさせて頂いております。